OMCNews 大阪ムービーサークル

ＯＭＣ事務局　〒565-0085 豊中市上新田4-16-1-33 合原一夫 TEL06-6833-9227
広報編集局　〒573-1171 枚方市三栗1-18-20　前田茂夫 TEL072-850-5781

平成１４年４月（2002年）Ｎｏ．４３６

幸先のよい ビデオコンテスト入賞のニュース

このほど西村さんが、東京ビデオフェスティバルに入賞、更に安居利次さん、良枝さんご夫妻が大阪市視聴覚教育協議会ビデオコンテストに、それぞれ入賞されるなど、今年も幸先のよいスタートとなりました。入賞された方々、お目出度うございます。

■東京ビデオフェスティバル
ビデオケーション賞　ネパール紀行 国を失った人達　西村光雄さん

■大阪市視聴覚教育協議会　ビデオコンテスト２００１
自由課題の部門　文殊さんの思い出　安居良枝さん
郷土教材部門　大阪の渡し　安居利次さん

小豆島撮影会参加希望者は現在１３名

３月例会にて、５月３日、４日、小豆島撮影会の希望者を募った結果、次の方々が参加申込みをされました。
保留の方や、例会欠席で撮影会参加希望の方がおられましたら、出来るだけ早く会長までお申込下さるようお願いします。
■参加申込者（4月4日現在）：関、安居、奥、藤原、前田、河合、江村、森、吉岡、進藤、合原、勝、岡本（以上13名）
◎新入会者：岸上貞夫さん
〒546-0043 大阪市東住吉区駒川 3-14-9　TEL 06-6628-3630
会社定年となり、ビデオをやりたいと思います。どうぞよろしく。

４月例会のお知らせ

4月例会は27日（第4土曜日）18時より、阿倍野市民学習センター（あべのベルタ 3F）で開催します。今月は偶数月で研究会開催の予定でしたが、希望者が少なかったので中止します。
例会には撮影会の件もあり、多くの方のご参加をお待ちしています。初心者の方も遠慮なく作品をお持ちください。
楽しいひとときをどうぞ。

３月例会のレポート

今年は例年になく桜の開花が早く、３月例会日の 30 日は、もう散り始めたというニュース。そういえば今年は暖かいようだ。４月例会では、早や花見の作品が見られるかもしれない。

今月の司会は安居氏、書記、合原氏、デッキ係は江村、河合の両氏、受付兼照明係は良枝さんと奥さんの担当で進行した。今月は岸上（きしがみ）貞夫さんが新入会され、拍手で迎えられました。

■出席者：有村、今井、江藤、江村、奥、上総、河合、合原、関、中尾、那須、西村、華岡、藤原、前田、増池、松本、森、森下、安居夫妻、吉岡、渡辺、進藤、岸上の 25 氏。

■上映（今月の講評は合原さん）

１．廃線跡をいく　　増池さん　6分15秒

ＪＲ福知山線、生瀬から武田尾までの線路が切り替わったため、廃線となった旧 JR 線跡は、今や隠れたハイキングコースらしい。１月例会で発表された際、いろいろと助言があったので編集し直して再度持参したという作品。大分整理されて良くなったが出発点の生瀬の駅の紹介が欲しかったと、前回見ておられない方の助言があった。

２．ドリームライブ神戸
有村さん　6分50秒

ルミナリエの昼間が出るほかは、夜の神戸が主役。ハーバーランドの観覧車、遊園地の乗り物、商店、南京町、夜のルミナリエなど、照明の美しさがよく発揮されている。

華麗な夜のムードの映像だが BGM がやや淋しすぎるのではと感じた。またタイトルの横文字が読みづらいとの声もあった。しかし美しい映像にしばしうっとり。

３．大木先生と子供たち
西村さん　13分40秒

２月作品研究会で編集半ばの作品を披露され、いろいろ助言を得て編集してきたとのことだが、なかなか良く出来た作品となっていた。今年どこかのコンテストで上位入賞を果たすに違いない作品だろう。

ネパールのポカラで大木神父さんが障害児教育施設を開設され、障害児と向き合っておられる姿を取材されたもの。ラストカットの山のカットが、全体の流れからみてそぐわないような気がしたので、ラストカットについて少し工夫をされたら更に余韻の残る作品になろう。

４．妹　　　　良枝さん　9分10秒

お茶の先生をしておられる妹さんが、泉北ニュータウンの一戸建住宅から駅近くのマンションへ引っ越すことになり、それを機会に撮影されたもの。引越がメインだが、妹さんの若かりし頃のスチール写真が後半に紹介される。これなど題名の妹にふさわしいかも知れないが、引越が主題だと題名が少しそぐわないように思う。意欲作ではあるが、引越がねらいだとするならば、長年住み慣れた庭付き一戸建への後ろ髪を引かれるような愛着の気持ちと、それらを捨てて、便利なマンションへ引っ越ししてきた喜び、良かった点など、もっと主張された作品が欲しかったと思う。再度挑戦されることを期待したい。

５．我が家のストロボ記録
安居さん　3分00秒

写真だけで構成されたという実験的作品だが、何ともあわただしい。もっとも人生は”光陰矢の如し”というから、こういう表現方法もあるかとも思われるが、ある程度、じっくりみせないと判りづらく、見ていて目が疲れる。映像の長さにメリハリを付けてここぞというところは、ナレーションか字幕で説明するなどしたらどうだろう。もっとも題名の再考も必要になるかも。

６．道　　　　前田さん　5分17秒

いつもの前田作品に比べれば、これは百八十度違った前衛作品かも知れない。河川敷の砂利道をバイクに乗って、ずっと前方の道をビデオ撮りされたもの。よし、カラスなどのインサートカットもあるが、1 カット 40 秒位という長廻しには恐れ入った。水溜まりやトオセンボなど人生のありようを描いた由だが、二股道で、どっちへ行こうかと迷うようなカメラワークもあったらよかった。いずれにしても、こういう作品に取り組まれた意欲は買われる。

７．しばれる　　　河合さん　7分00秒

まず、しばれる、の意味の字幕が出てくるが最初は晴天の雪国なので、しばれる、という雰囲気ではなかった。そのうち、つららがあり、凍った湖あり、樹氷があり、降雪があって雪国らしい映像となった。映像は大変綺麗であり、撮影には何かと苦労されたのではないか、滝の場面などは現地録音がなかったが、若干の SE（現地音）が欲しかった。また１曲目が喜多郎で、２曲目がバイオリンで、全然雰囲気の違う曲の組み合わせは如何なものとか、との意見が出された。

８．白い季節　　　合原さん　7分45秒

北海道美瑛にて１月下旬に撮影、冬の美瑛は、他の季節と違って白一色の風景。作者にしては数少ないノンナレの風景映像だが、こういう分野は不得手なだけに、色々と意見を出される始末に。静と動との組み合わせ、晴天と曇天と降雪の組み合わせ、これらをどう順序づけて表現するか、いい勉強になった。

９．三ノ瀬公園の国際交流

江村さん　5分0秒

第６回東大阪国際交流フェスティバルの記録、中国、スペイン、沖縄などの祭りの踊りやコーラスなど盛りだくさんのイベントの記録だが、何かゴチャまぜの感じで、いつもの江村さんらしい映像のキレ味が見られないと、場内からの声。題名も三ノ瀬公園の･･･、としないで「下町の国際交流」でよいのでは、という意見があった。

10. ふらっとハウステンボス

那須さん　8分0秒

ハウステンボスの綺麗な西洋風の建物、色あざやかな花、風車、船などをふんだんに撮影され、最後は、俯瞰撮影で全体を紹介されて、ハウステンボスの雰囲気をよく伝えていたが、観光客がいかにも少ない。あれでは赤字経営だろうなあと、別の観点から感慨が湧いてきた。

11. 西宮宮水まつり

吉岡さん　8分30秒

10 月 3 日に行われた日本酒を造る酒造りどころのお祭りで、今年で 13 回目だという。神事に続き、パレードがあって、西宮えびす神社で再び神事という一連の動きを記録されたもの。西宮えびす神社には、いろんな祭りや行事があるようだが、こういう祭りがあるとは知らなかった。こういう神事を中心とした行事は、一般向けの作品にするのは難しい。

12. 昆陽池の鳥たち

進藤さん　9分35秒

進藤さんの作品は確か２作目だと思うが、前作に比べ、ぐっと良くなったように思う。画面にも安定感があり、安心して拝見できた。ただ、こういうノンナレ作品で、鳥だけを撮った作品としては半分くらいの長さ（5 分くらい）でまとめたいものだ。人を出来るだけ入れないで撮っておられるが、昆陽池の鳥たちは、むしろ人との交流を取り入れた方が、見ていて素直に受け入れられると思われる。

以上で上映を終わり、２次会場へとそれぞれ席を移した。

■撮影会参加者へのお願い

小豆島撮影会参加申込み者は、４月例会にて会費２万円を会計へ納めてください。

■今月のインターネット作品

「大木先生と子供たち」西村作品です。

■インターネット情報

インターネット活用法の一つとしてビデオ映像のネット配信があるが、昨年の ADSL の爆発的な普及でその時期は到来したのではないかといことで、ビデオサロン誌４月号に「インターネットシアターを開設しよう！」と題して、10 月号まで７回の連載記事を寄稿することとなった。これまでもアナログや、ISDN の時代にもビデオ映像は配信してきたが（1997.2 月～配信開始）、正直言って観られたものではなかった。しかしブロードバンドが実用化されたことで、画面の大きさ、画質、音質とも相当改善され実用の域に達したといわれている。そこで、ビデオ映像をネット配信するための”How to”を公開し、ネット映像の輪が拡がればいいものと念じている。

折角手間暇とお金をかけて作った作品も、例会で１～２回、公開映写会で１回、都合２～３回の上映で終わりである。しか

し、インターネットに公開することによって、広く作品を観ていただけるチャンスは確実に拡がるのではないかと考えている。ネットに載せたからと云って、そんなにアクセスが上がるものではない。しかし、チャンスは拡がることは事実である。

公開映写会に足を運んで下さる方は、せいぜい1回２００人前後である。しかも年1回の行事である。一方ネットは毎日観ていただけるチャンスがある。1日に1本観て下さったとして、年間３６０人である。そのように考えたら、ネットを活用しない手はなかろうというのが主眼である。

しかもネット配信には金がかからない、せいぜい1ケ月コーヒー代換算で、10 杯〜 15 杯である。こんなに安く、有益なメディアを使わない手はない。

ネット配信の技術は、さほど難しいものではない。ノンリニア編集で PC と向かい合っているのと、ほぼ同じ程度のことである。多少の約束事を覚える必要があるのはやむを得ない。ノンリニアでも沢山の約束事を覚える必要があるが、それと同じ位だと思ったらいい。

以上のような主旨で講座を展開していきます。2回目では、簡単なホームページの作り方、3回目で、ビデオファイルの制作とアップロードに触れます。つまり3回目で初めてビデオを扱いビデオ映像を配信するということになります。

ーーーーーーーーーーーーーーーーーー

ADSL は相変わらず好調のようである。何でも昨年３月末で７万回線程度だったのが、今年の３月末で２３７万回線というから、なんと３４倍の伸びである。不景気とはいいながら、本当に良いもの、人々が望んでいる商品には惜しげもなく金を使うということであろう。

2002.4.9サンケイ新聞朝刊

好調ＤＳＬ市場

累計利用237万回線　３月末

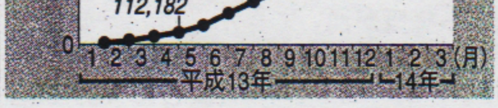
高速インターネットサービスのＤＳＬ（デジタル加入者線）市場が依然、好調だ。総務省が九日発表した三月末のＤＳＬ加入者数によると、累計利用件数は二百三十七万回線に達した。前月に比べ三十万回線以上も増え、昨年度末から一年間では二百三十万回線以上増えた。総務省はこうしたＤＳＬの増加ペースはしばらく続くと予想している。

三月末の加入者は前月比 14・5％増の二百三十七万八千七百九十五回線。このうち NTT 東西地域会社が提供するサービスは約九十七万回線。昨年九月末には約 60 ％を占めていた同社のシェアは 40 ％に低下し、NTT 以外の事業者がシェアを伸ばしているという。

既存の電話回線を使ってインターネットに高速でつながるＤＳＬは昨年三月末には、七万回線程度にすぎなかったが、五月以降は毎月約十万回線ずつ増加するなど、じわじわと普及していた。

これが爆発的に加入者増につながったのが昨年九月のヤフーＢＢの参入だ。月額三千円を切る低料金でサービスを開始。これに他事業者が続々と追随して、サービス料金の低廉化が急速に進んだ。同時に、通信速度を最大毎秒 8 メガビットにまで向上させるなど、サービスの質の向上もめざした。

その結果、加入者数は昨夏以降、毎月三十万回線前後という驚異的なペースで増加。昨年十二月末には CATV によるネット接続利用者数をも上回った。総務省の全国ブロードバンド構想では、二〇〇三年（平成十五年）度末にはＤＳＬ利用者は七百四十九万回線に達すると推定している。



以上サンケイ新聞より転載

mail to:smaeda@lyra.vega.or.jp

（以下ネット版ニュースで、文責前田）